

M.H.さん（幼児教育コース）

京都市私立幼稚園 内定

【はじめに】

私は幼稚園児の時、私立幼稚園に通っていました。幼稚園での生活が楽しくて、毎日充実していたことを今でも覚えています。今度は自分が幼稚園の先生になり、子どもたちに楽しい時間を提供したいと考え、幼稚園教諭になることを決意しました。そしていつか自分が通っていた幼稚園に帰りたいと強く思うようになりました。

【私の4年間】

教師を目指すなら子どもと関わる時間を増やした方が良いと思い、私はYMCAというボランティア団体に入りました。滋賀大学のサークルの一つなので誰でも参加することが出来ます。YMCAと言っても様々な活動があり、私はその中の野外活動クラブのリーダーとして、毎月の活動やキャンプに参加させてもらいました。リーダーは5~8人ほどの幼児~小学生の子どもたちのグループを持ち、プログラムからタイムスケジュールまで自分一人で計画します。これらの経験は今思うと本当に貴重な時間だったと思います。内気な性格で人前でろくに話すこともできなかった私が、たくさんの子どもの前で話をしたりゲームをしたりすることができるようになったのですから。やはり素敵な教師になりたいなら、まずは子どもとたくさん関わり子どもをよく知ることで、そして様々な経験をして自分にはないものを手に入れること、それが自分の経験値となり価値となり、人間性に繋がっていくのです。大学4年間はあつという間です。好きなことを深めるもよし、苦手なことに挑戦するもよし、密度の濃い時間を過ごすことをおすすめします。

【試験対策】

試験対策と書きましたが、公立園を目指している人のように、たくさんの参考書と向き合うということは全くしていません。私立幼稚園に就職したいと考えているのであれば、まずはその幼稚園に行くこと、それだけです。多くの私立幼稚園では、学生に向けて、体験保育や保育見学の日が設定されていると思います。ホームページや町の広告などから情報を集め、時間が許すのであれば、どんどん足を運んでください。私は2回生の時にたまたま授業がなくなった日などを利用して保育見学に行きました。3回生になれば授業も少なくなり、休みの日も出来ます。そこで園の方に「ボランティアでも何でもいいので何かお手伝いさせていただくことはできませんか」と聞き、週に1~2回程度午前中だけボランティアとして勉強させていただくことが出来ました。4回生になると、園の方から「アルバイトとして来てくれないか」と言っただけ、週3回、9時から18時まで行くことになりました。

つまり、園に足を運び、その幼稚園を知ることが大切なのです。そしてその幼稚園と自分の相性はどうか、本当にここで働きたいのか、など吟味していくのです。私は自分が卒園したところで働きたいという強い思いがあったので迷いはありませんでしたが、いろいろな幼稚園や保育所を訪ねるのも一つのやり方だと思います。とにかく園に顔を売ること、それが一番の試験対策です。

【試験内容】

<第1次審査>

- ・個人面接・・・私は1次審査が免除だったので詳しいことは分かりませんが、公立園の試験でもあるような、個人面接です。

<第2次審査>

- ・実習・・・・・・午前中の3時間、クラスに入り保育補助、幼児観察を行う。
- ・小論文・・・・・・3時間の実習を通してエピソード（自分の心に触れる部分）から何が読み

取れるかを書き出し、考察する。

- ・ピアノ・・・・・・・・教則本から自分のレベルを表現できる1曲、子どものうた弾き歌い1曲。
(自分で選び練習していくことができる。)
- ・リズム表現・・・・①リトミック→先生がピアノで弾くリズムを体全体で表現する。
②リズム体操→先生の真似をして体操を踊る。
- ・絵本・・・・・・・・何冊かの絵本から自分で一冊選び、先生の前で読み聞かせをする。
- ・面接・・・・・・・・①グループ面接→自分が年長クラスの担任になったことを想定して、運動会の種目を決める。
②個人面接→園長先生との面接。

【終わりに】

私立園を受けたのは同期の中で私だけでした。周りが公立園を目指して勉強している中、一人違うやり方で幼稚園に通い続けることが不安で、このままでいいのかなと思うこともありました。しかし先生方は、「自分の働きたいところで働けるのは幸せなこと、自信を持って今のまま突っ走れ」と言ってくださり、合格することができました。幼稚園に足を運ぶということに、最初は勇気がいりますが、早くから行動に移すことが勝負の分かれ目だと私は思います。私立園を受けようとは考えていなくても、現場を知るということは自分にとってとても勉強になることだと思いますので、どんどん幼稚園や保育所に行き、経験値を増やして行ってください。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

M.N さん(環境教育課程)
日本航空株式会社 (客室乗務職) 内定

【就職活動期間】

2014年12月～2015年5月

【就職活動中のスケジュール】

2014年12月 情報解禁、合同説明会に行く
2015年1月 自己分析、SPI、初めて企業の面接に行く
4月 本格的に面接が始まる
5月 内定

プレエントリー数：約 30 社
エントリー数 : 10 社
内定数 : 3 社

【自己分析の方法】

自己分析の時間は作りませんでした。ご飯を食べている時や電車に乗っている時、友人と話した際に自分に関することを言われた時など、思いついた時にメモに残し、あとでまとめていました。また参考書などに載っている質問に対して 30 秒程度で答えられる内容を書き出し、自分の中心にある性格を見つけ出すという方法で自己分析をしていました。

【SPI】

参考書を取りあえず1周解き、できなかったところだけを何回か解き直しました。自己分析に時間をかけたかったので SPI に関してはそんなに時間はかけませんでした。

【面接】

自分の考えは迷わず素直に伝えた方が良いと思います。社員さんに教えて頂いた話ですが、たくさんの人を見てきた人は出会ってすぐに喋らずしてその人がどのような人間かが大体分かってしまうそうです。嘘はいけません、事実は最大限魅力的に伝えられるように普段から前向きな言葉選びをする練習をするとういと思います。

【最後に】

就職活動ではなかなか内定がもらえず落ち込んでしまうこともあるかと思いますが、エントリーシートや面接を恐れずたくさんの企業を見て、自分も「企業を選ぶ側」の対等な関係であることを忘れずに頑張ってもらいたいと思います。

今はネットでたくさんの企業の情報を見ることが出来ますが実際に企業説明会に足を運び、実際に社員さんと話をするなど、会社の雰囲気を知ることも大切だと思います。充実した就職活動を送り、自分に合った企業に出会えるよう頑張ってください。応援しています。